

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和元年8月24日(土)

2 調査の概要

(1) 栗東高校(栗東市)

2024年に本県で開催予定の国民スポーツ大会で、少年種別の競技力向上において高校の部活動単位での強化が有効と考えられる競技については、平成29年度より強化拠点校として指定し、集中的に競技力の向上を図っている。栗東高校においては、平成29年度にレスリング、体操、ソフトボールが、令和元年度にはテニスの強化拠点校に指定され、高校生のみならず、地域のジュニア世代も一緒に練習を行い、競技力向上に取り組んでいる。

については今後の委員会活動の参考とするため、栗東高校を訪問し、レスリング、ソフトボール部、テニス部における選手強化の取り組みについて調査を行うとともに、部活動の視察を行った。また、県立栗東体育館において、体操部における選手強化の取り組みについて調査を行うとともに、部活動の視察を行った。



(2) 栗東体操クラブ(栗東市)

栗東体操クラブでは、2歳の未就園児から高校3年生までの幅広い年齢の方が、練習されており、細かくクラス分けがされているが、中には、オリンピックを目指すクラスもある。楽しく体を動かし、体操の基本、柔軟性、瞬発力および体幹を鍛えることにより、各スポーツ分野で役立つ運動能力が身に付くよう指導されている。当クラブは一般コースと

競技コースに分かれており、競技コースでは、中体連や高体連のルールにのっとった練習を行い、選手を目指すことを目的に指導されている。また、競技力向上の観点から、オリンピック選手が使用する器具で練習されている。

については今後の委員会活動の参考とするため、栗東体操クラブを訪問し、競技力向上の取り組みについて競技コースの視察を行った。

